

第2回 21世紀成年者縦断調査 (国民の生活に関する継続調査) 結果の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
I 結婚の状況	3
1 独身者の結婚の状況	3
2 結婚した女性の就業継続の有無	5
II 出生の状況	8
1 夫婦の子どもの出生の状況	8
2 出産した妻の就業継続の有無	11
III 就業の状況	14
1 仕事なしの有配偶女性の就業の状況	14
2 女性の退職理由	18
参考	22
用語の説明	23

厚生労働省大臣官房統計情報部

担当係 社会統計課国民生活基礎調査室 調査第四係

電話 (03)5253-1111 (内線7592)

(03)3595-2974 (ダイヤルイン)

厚生労働省ホームページ (URL)<http://www.mhlw.go.jp/>

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化の状況を継続的に観察することにより、少子化対策等厚生労働行政施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的として、平成14年を初年として実施しているものである。

2 調査の対象及び客体

平成14年10月末時点で20～34歳であった全国の男女（及びその配偶者）を対象とし、そのうち、第1回調査において協力を得られた者等（及びその配偶者）を客体とした。

3 調査の実施日

平成15年11月 5日（水）

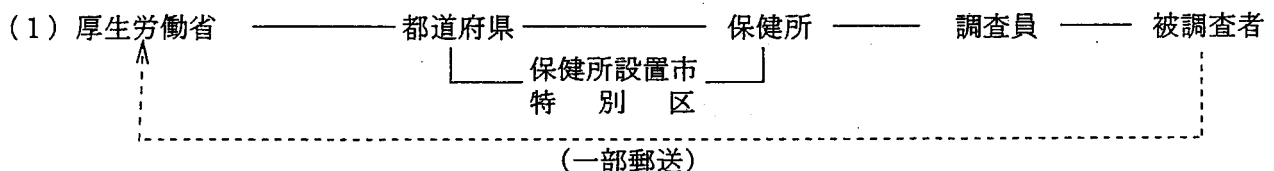
4 調査の事項

- (1) 女性票 …… 仕事の有無、就業形態、仕事なしの者の就業希望、退職理由、配偶者の有無、子どもの状況等
- (2) 男性票 …… 仕事の有無、就業形態、仕事なしの者の就業希望、退職理由、配偶者の有無等
- (3) 配偶者票（女性用） …… 仕事の有無、就業形態、子どもの状況等
- (4) 配偶者票（男性用） …… 仕事の有無、就業形態等

5 調査の方法

- (1) 調査員があらかじめ配布した調査票に被調査者が自ら記入し、密封したものを後日調査員が回収する方法により行った。
なお、一部の客体については、調査員があらかじめ配布した調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。
- (2) 第1回調査以降に転出した者は、厚生労働省から郵送された調査票に被調査者が自ら記入し、郵送により厚生労働省に提出する方法により行った。

6 調査の系統



(2) 厚生労働省 ———— 被調査者

7 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

調査客体数、回収客体数、集計客体数は次のとおりであった。

なお、本概況における集計客体数とは、第1回調査、第2回調査ともに集計可能である客体をいう。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数
女性票	14,874	12,483	11,920
男性票	14,809	11,910	11,244
配偶者票(女性用)	515	484	443
配偶者票(男性用)	1,778	1,631	1,560
計	31,976	26,508	25,167

6 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—
統計項目のあり得ない場合	・
比率が微小(0.05未満)の場合	0.0

(2) この概況に掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が「総数」に合わない場合もある。

結果の概要

I 結婚の状況

1 独身者の結婚の状況(1年前の独身者)

(1)「この1年間の結婚の状況(有無)」からみた「1年前の結婚意欲」

結婚した男女の半数以上が結婚を「絶対したい」と考えていた。

第1回調査で独身だった者について、この1年間の結婚の状況別に第1回の結婚意欲をみると、「結婚した」者の結婚意欲は、「絶対したい」が男 52.7 %、女 56.0 %と半数以上であった。

また、男女ともに、結婚を「絶対したい」と考えていた者が「結婚した」割合が最も多い。(表1、図1)

表1 性、この1年間の結婚の状況別にみた第1回の結婚意欲

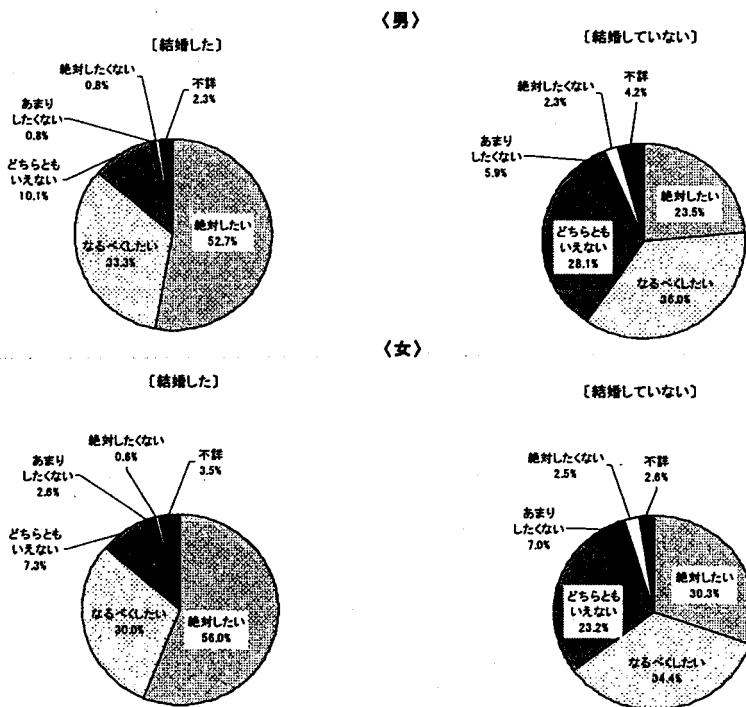
(単位：%)

		総数	結婚した	結婚して いない	総数	結婚した	結婚して いない
第1回 の結婚 意欲	男	100.0	100.0	100.0	100.0	3.4	96.6
	絶対したい	24.5	52.7	23.5	100.0	7.3	92.7
	なるべくしたい	35.9	33.3	36.0	100.0	3.2	96.8
	どちらとも いえない	27.5	10.1	28.1	100.0	1.2	98.8
	あまりした くない	5.8	0.8	5.9	100.0	0.5	99.5
	絶対した くない	2.2	0.8	2.3	100.0	1.2	98.8
女	100.0	100.0	100.0	100.0	4.9	95.1	
絶対したい	31.5	56.0	30.3	100.0	8.7	91.3	
なるべくしたい	34.2	30.0	34.4	100.0	4.3	95.7	
どちらとも いえない	22.4	7.3	23.2	100.0	1.6	98.4	
あまりした くない	6.8	2.6	7.0	100.0	1.9	98.1	
絶対した くない	2.4	0.6	2.5	100.0	1.2	98.8	

注：1) 集計対象は、第1回独身者である。

2) 総数には結婚意欲不詳を含む。

図1 性、この1年間の結婚の状況別にみた第1回の結婚意欲



注：集計対象は、第1回独身者である。

(2)「この1年間の結婚の状況(有無)」からみた「就業状況の変化」

同一就業継続の割合は、結婚した男で70.9%、結婚していない男で57.2%。

第1回と第2回の就業状況の変化をみると、最も多いのは「同一就業継続」であり、男では「結婚した」で70.9%、「結婚していない」で57.2%となっている。

女では「同一就業継続」の割合は「結婚した」で42.3%、「結婚していない」で57.8%となっている。

また、結婚の状況にかかわらず、男女ともに、年齢階級が高くなるに従って、「同一就業継続」の割合が多くなっている。(表2、図2)

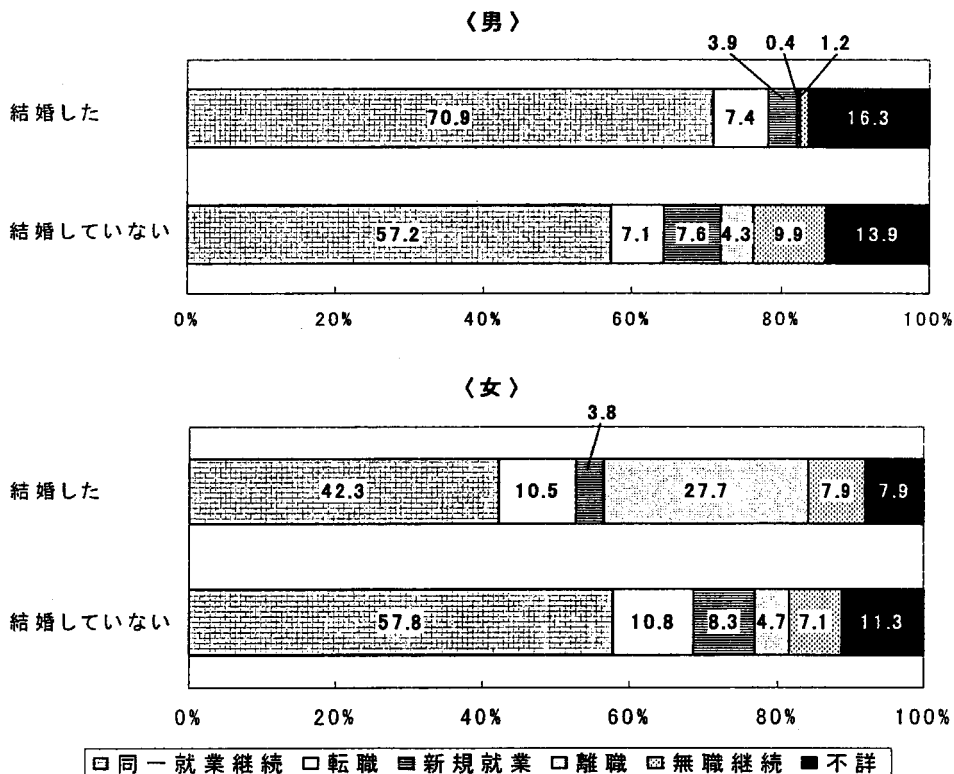
表2 性、この1年間の結婚の状況、年齢階級別にみた就業状況の変化

(単位：%)

	総数	同一就業継続	転職		新規就業	離職	無職継続	不詳				
			(再)正規	(再)非正規								
男												
結婚した	(100.0)	100.0	70.9	5.0	7.4	-	1.6	3.9	0.4	1.2	16.3	
21~25歳	(27.5)	100.0	56.3	45.1	5.6	9.9	-	2.8	8.5	1.4	1.4	22.5
26~30歳	(44.6)	100.0	75.7	66.1	3.5	8.7	-	1.7	2.6	-	-	13.0
31~35歳	(27.9)	100.0	77.8	65.3	6.9	2.8	-	-	1.4	-	-	2.8
結婚していない	(100.0)	100.0	57.2	40.2	11.4	7.1	0.7	1.8	7.6	4.3	9.9	13.9
21~25歳	(40.9)	100.0	45.5	25.9	16.2	9.8	0.7	3.1	11.3	6.5	14.6	12.2
26~30歳	(35.8)	100.0	64.1	49.3	8.4	6.5	1.0	1.3	5.5	3.0	6.5	14.4
31~35歳	(23.3)	100.0	67.3	51.2	7.4	3.4	0.4	0.4	4.4	2.2	6.7	15.9
女												
結婚した	(100.0)	100.0	42.3	31.2	8.5	10.5	3.5	0.3	3.8	27.7	7.9	7.9
21~25歳	(27.7)	100.0	29.5	25.3	3.2	12.6	4.2	1.1	3.2	35.8	8.4	10.5
26~30歳	(49.6)	100.0	43.5	36.5	6.5	9.4	2.9	-	3.5	28.8	8.2	6.5
31~35歳	(22.7)	100.0	55.1	26.9	19.2	10.3	3.8	-	5.1	15.4	6.4	7.7
結婚していない	(100.0)	100.0	57.8	36.2	19.5	10.8	1.3	2.1	8.3	4.7	7.1	11.3
21~25歳	(47.3)	100.0	49.9	30.0	18.8	14.1	1.4	3.6	11.3	5.5	8.3	10.8
26~30歳	(33.4)	100.0	64.4	41.4	20.0	8.7	1.5	0.9	6.1	4.3	5.1	11.5
31~35歳	(19.3)	100.0	66.0	42.3	20.3	6.4	1.0	0.3	4.5	3.3	7.5	12.4

注：集計対象は、第1回独身者である。

図2 性、この1年間の結婚の状況別にみた就業状況の変化



注：集計対象は、第1回独身者である。

2 結婚した女性の就業継続の有無(1年前に「仕事あり」でこの1年間に結婚した女性)

(1)「就業継続の有無」

年齢階級が高くなるに従って、同一就業継続の割合が多くなっている。

第1回に仕事ありでこの1年間に結婚した女性のうち、第1回と同じ仕事を続けているのは49.0%であり、年齢階級が高くなるに従って、「同一就業継続」の割合が多くなっている。

また、就業形態別にみると、「正規」では54.0%、「非正規」では37.7%が「同一就業継続」となっている。(表3)

表3 年齢階級別にみた就業継続の有無

(単位：%)

	総数	同一就業 継続	転職	(再)		離職	不詳		
				正規	非正規				
第2回	総数	(100.0)	100.0	49.0	12.2	2.4	8.8	32.1	6.8
	21～25歳	(27.0)	100.0	35.0	15.0	3.8	10.0	42.5	7.5
	26～30歳	(49.7)	100.0	50.3	10.9	1.4	8.2	33.3	5.4
	31～35歳	(23.3)	100.0	62.3	11.6	2.9	8.7	17.4	8.7
第1回	(再掲) 正規	(66.9)	100.0	54.0	10.6	3.0	6.1	31.3	4.0
	(再掲) 非正規	(26.0)	100.0	37.7	18.2	1.3	16.9	40.3	3.9

注：集計対象は、第1回仕事ありで結婚した女性である。

(2)「1年前の結婚後の就業継続意欲」からみた「就業継続の有無」

「結婚した後も続ける」と考えていた場合の同一就業継続は65.5%。

第1回の結婚後の就業継続意欲別にみると、同じ仕事を「結婚した後も続ける」としていた女性のうち65.5%が「同一就業継続」となっている。(表4、図3)

表4 第1回の結婚後の就業継続意欲別にみた就業継続の有無

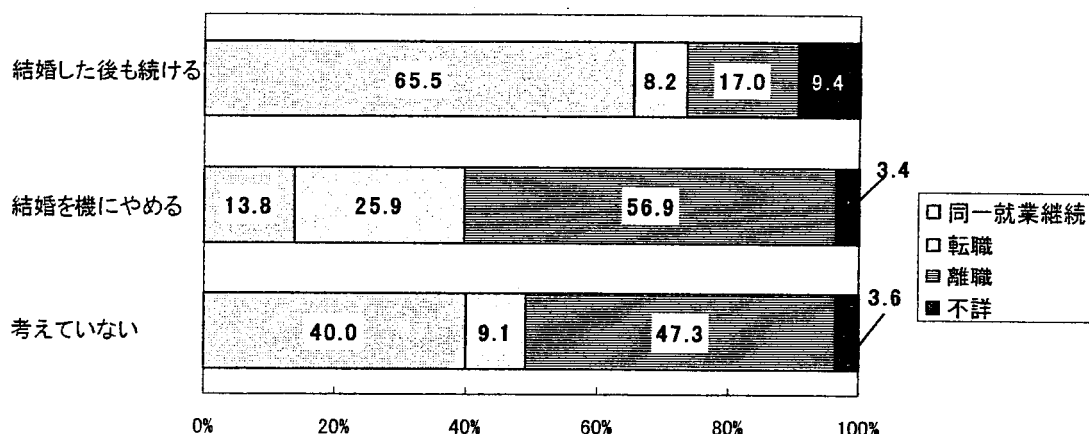
(単位：%)

	総数	同一就業 継続	転職	(再)		離職	不詳		
				正規	非正規				
第1回の結婚後の就業継続意欲	総数	(100.0)	100.0	49.5	12.1	2.4	8.7	31.5	6.9
	結婚した後も続ける	(59.2)	100.0	65.5	8.2	1.8	5.8	17.0	9.4
	結婚を機にやめる	(20.1)	100.0	13.8	25.9	5.2	17.2	56.9	3.4
	考えていない	(19.0)	100.0	40.0	9.1	1.8	7.3	47.3	3.6
	(再掲) 正規	(100.0)	100.0	54.1	10.8	3.1	6.2	30.9	4.1
	結婚した後も続ける	(60.8)	100.0	71.2	5.9	2.5	2.5	17.8	5.1
	結婚を機にやめる	(21.6)	100.0	7.1	28.6	4.8	19.0	59.5	4.8
	考えていない	(16.5)	100.0	56.3	6.3	3.1	3.1	37.5	-
	(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	38.7	17.3	1.3	16.0	40.0	4.0
	結婚した後も続ける	(49.3)	100.0	54.1	18.9	-	18.9	21.6	5.4
	結婚を機にやめる	(18.7)	100.0	28.6	21.4	7.1	14.3	50.0	-
	考えていない	(28.0)	100.0	19.0	9.5	-	9.5	66.7	4.8

注：1) 集計対象は、第1回仕事ありで結婚した女性のうち、第1回の結婚意欲が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかの者のみである。

2) 総数には結婚後の就業継続意欲不詳を含む。

図3 第1回の結婚後の就業継続意欲別にみた就業継続の有無



注: 集計対象は、第1回仕事ありで結婚した女性のうち、第1回の結婚意欲が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかの者のみである。

(3)「就業継続の有無」からみた「1年前の家族の考え方や会社の雰囲気」

結婚を考えている相手や家族が退職を望んだり、会社に働き続けにくい雰囲気があるということがなかったのは、同一就業継続で87.4%、離職で74.7%。

就業継続の有無別に第1回の結婚後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気をみると、「結婚を考えている相手や家族が結婚後退職することを望んでいる」あるいは「会社に結婚後働き続けにくい雰囲気がある」というようなことがいずれもなかった(表5の「上記のようなことはいずれもない」)のは、「同一就業継続」では87.4%、「離職」では74.7%となっている。

一方、「結婚を考えている相手や家族が結婚後退職することを望んでいる」「会社に結婚後働き続けにくい雰囲気がある」又は「上記のようなことがいずれもある」の割合は、「離職」の場合に多くなっている。(表5)

表5 就業継続の有無別にみた第1回の結婚後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気

(単位: %)

		総数	同一就業継続	転職	離職
第1回 家族の 会社の 考え方や 雰囲気	総数	100.0	100.0	100.0	100.0
	結婚を考えている相手や家族が結婚後退職することを望んでいる	4.2	2.1	5.7	7.7
	会社に結婚後働き続けにくい雰囲気がある	8.0	8.4	5.7	8.8
	上記のようなことがいずれもある	2.1	-	2.9	4.4
	上記のようなことはいずれもない	82.4	87.4	77.1	74.7
	不詳	3.5	2.1	8.6	4.4

注: 1) 集計対象は、第1回仕事ありで結婚した女性のうち、第1回の結婚意欲が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかの者のみである。

2) 総数には就業継続の有無不詳を含む。

(4)「1年前の女性の家庭観」からみた「就業継続の有無」

「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭を築きたい」と考えていた場合の同一就業継続は半数以上。

第1回の家庭観別にみると、「世帯の収入に対する責任」では「同一就業継続」の割合は、「夫が主として責任をもつ家庭」では40.1%、「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」では59.5%となっている。

「家事に対する責任」では「同一就業継続」の割合は、「妻が主として責任をもつ家庭」では40.9%、「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」では55.4%となっている。(表6、図4)

表6 第1回の家庭観別にみた就業継続の有無

(単位：%)

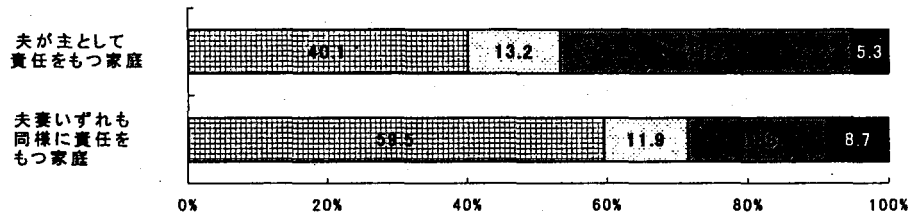
	総数	同一就業継続	転職	(再)		離職	不詳
				正規	非正規		
第1回の家庭観 <世帯の収入に対する責任>	(100.0)	100.0	49.5	12.1	2.4	8.7	6.9
	夫が主として責任をもつ家庭 (52.6)	100.0	40.1	13.2	0.7	11.2	5.3
	妻が主として責任をもつ家庭 (1.0)	100.0	100.0	-	-	-	-
	夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭 (43.6)	100.0	59.5	11.9	4.8	6.3	8.7
	わからない (1.0)	100.0	66.7	-	-	-	33.3
第1回の家庭観 <家事に対する責任>	(100.0)	100.0	49.5	12.1	2.4	8.7	6.9
	夫が主として責任をもつ家庭 (43.9)	100.0	40.9	13.4	2.4	9.4	4.7
	妻が主として責任をもつ家庭 (51.2)	100.0	55.4	12.2	2.7	8.8	8.1
	夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭 (2.1)	100.0	83.3	-	-	-	16.7
	わからない	-	-	-	-	-	-

注:1) 集計対象は、第1回仕事ありで結婚した女性のうち、第1回の結婚意欲が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかの者のみである。

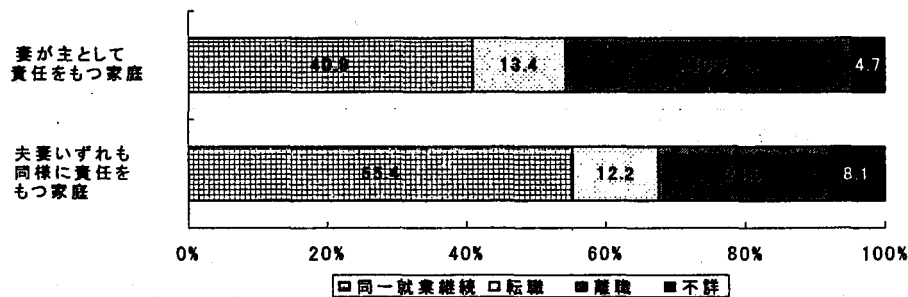
2) 総数には家庭観不詳を含む。

図4 第1回の家庭観別にみた就業継続の有無

< 世帯の収入に対する責任 >



< 家事に対する責任 >



注:集計対象は、第1回仕事ありで結婚した女性のうち、第1回の結婚意欲が「絶対したい」「なるべくしたい」「どちらとも言えない」「あまりしたくない」のいずれかの者のみである。

II 出生の状況

1 夫婦の子どもの出生の状況

(1)「この1年間夫婦であった夫及び妻」の「1年前の子どもをもつ意欲」からみた「この1年間の出生の状況(有無)」

夫、妻ともに子どもが「ほしい」と考えていた夫婦の23.1%に子どもが生まれた。

第1回、第2回ともに双方から回答の得られている夫婦について、第1回の夫及び妻の子どもをもつ意欲別に、この1年間の出生の状況をみると、夫、妻ともに「ほしい」では23.1%、夫、妻ともに「ほしくない」では3.0%の夫婦に子どもが生まれている。(表7)

表7 第1回の夫及び妻の子どもをもつ意欲別にみたこの1年間の出生の状況
(単位：%)

		第1回の妻の意欲		
		ほしい	どちらとも いえない	ほしくない
第1回の1年間の意欲・出生の状況	ほしい	100.0	100.0	100.0
	出生あり	23.1	9.3	4.1
	出生なし	76.9	90.7	95.9
	どちらともいえない	100.0	100.0	100.0
	出生あり	12.7	5.0	3.1
	出生なし	87.3	95.0	96.9
	ほしくない	100.0	100.0	100.0
	出生あり	6.9	5.5	3.0
出生なし	93.1	94.5	97.0	

注：1) 集計対象は、第1回、第2回ともに双方から回答の得られている夫婦である。

2) 「ほしい」は、「絶対欲しい」「欲しい」と回答した者を、「ほしくない」は「あまり欲しくない」「絶対欲しくない」と回答した者を合算している。

(2)「この1年間夫婦であった夫及び妻」の「この1年間の出生の状況(有無)」からみた「夫の家事・育児分担の有無」

夫が家事・育児をしていたのは「出生あり」で73.5%、「出生なし」で64.9%。

出生の状況別に第1回の妻からみた「夫が家事・育児をしている」の割合をみると、「出生あり」では73.5%、「出生なし」では64.9%となっている。

第1回の子ども数別では、「子どもなし」の場合には、「出生あり」で55.8%、「出生なし」で51.2%となっているが、子ども「1人」では、「出生あり」で81.7%、「出生なし」で68.8%、子ども「2人以上」では、「出生あり」で79.4%、「出生なし」で67.2%となっている。(表8、図5)

表8 第1回の子ども数、この1年間の出生の状況別にみた第1回の夫の家事・育児分担の有無

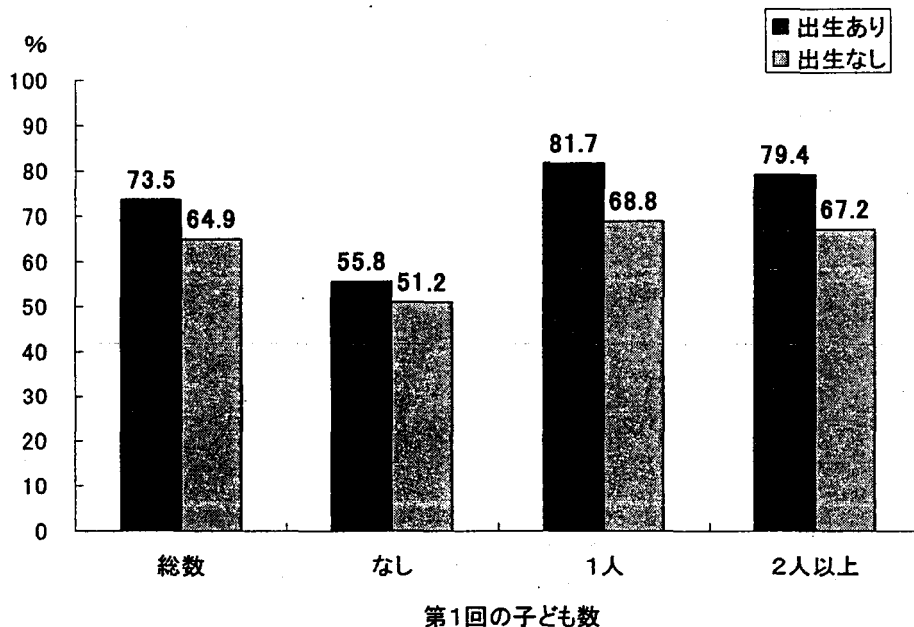
(単位：%)

		第1回の子ども数・この1年間の出生の状況											
		総数			なし			1人			2人以上		
		総数	出生あり	出生なし	総数	出生あり	出生なし	総数	出生あり	出生なし	総数	出生あり	出生なし
第1回	総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	夫が家事・育児をしている	65.9	73.5	64.9	52.1	55.8	51.2	71.4	81.7	68.8	67.8	79.4	67.2
	夫が家事・育児をしていない	29.9	22.8	30.9	43.9	41.1	44.6	24.3	14.0	26.9	28.0	17.6	28.6

注：1) 集計対象は、第1回、第2回ともに双方から回答の得られている夫婦である。

2) 総数には夫の家事・育児分担の有無不詳を含む。

図5 第1回の子ども数、この1年間の出生の状況別にみた第1回の夫が家事・育児をしている割合



注：集計対象は、第1回、第2回ともに双方から回答の得られている夫婦である。

(3)「この1年間夫婦であった妻」の「この1年間の出生の状況(有無)」からみた「就業状況の変化」

子どもが生まれた妻では23.5%、子どもが生まれていない妻では36.1%が同一就業継続
第1回と第2回の妻の就業状況の変化をみると、「同一就業継続」の割合は、この1年
間に子どもが生まれた場合には23.5%、この1年間に生まれていない場合には36.1%と
なっている。

出生順位別にみると、「第1子出産」では、「同一就業継続」が26.1%、「第2子以降出
産」では、「無職継続」が60.1%となっている。

この1年間に子どもが生まれていない場合のうち、子どもなしでは、「同一就業継続」
が49.3%となっている。(表9、図6)

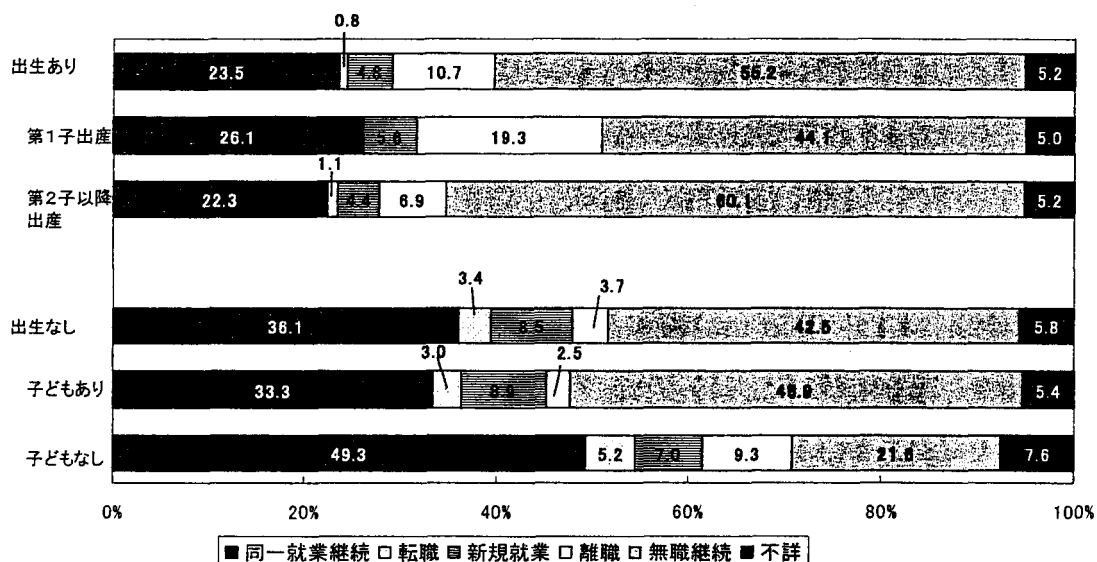
表9 この1年間の出生の状況、出生順位、子どもの有無別にみた就業状況の変化

(単位：%)

	総数	同一就業継続			転職	新規就業	離職	無職継続	不詳	
		(再掲) 正規	(再掲) 非正規							
出生あり	(100.0)	100.0	23.5	12.4	5.0	0.8	4.8	10.7	55.2	5.2
第1子出産	(30.7)	100.0	26.1	18.0	4.3	-	5.6	19.3	44.1	5.0
第2子以降出産	(69.3)	100.0	22.3	9.9	5.2	1.1	4.4	6.9	60.1	5.2
出生なし	(100.0)	100.0	36.1	13.2	17.2	3.4	8.5	3.7	42.5	5.8
子どもあり	(82.5)	100.0	33.3	11.5	15.9	3.0	8.9	2.5	46.9	5.4
子どもなし	(17.5)	100.0	49.3	21.2	23.5	5.2	7.0	9.3	21.6	7.6

注：集計対象は、第1回、第2回ともに双方から回答の得られている夫婦の妻である。

図6 この1年間の出生の状況、出生順位・子どもの有無別にみた就業状況の変化



注：集計対象は、第1回、第2回ともに双方から回答の得られている夫婦の妻である。

2 出産した妻の就業継続の有無(1年前に「仕事あり」でこの1年間に出産した妻)

(1)「出生順位」からみた「就業継続の有無」

出生順位が高くなるほど出産した妻の「同一就業継続」の割合が多くなる。

第1回に仕事ありで、この1年間に出産した妻のうち、「同一就業継続」の割合は62.1%となっている。

出生順位別にみると、「第1子出産」では53.2%、「第2子以降出産」では68.1%が「同一就業継続」となっている。

就業形態別にみると、「正規」では69.1%、「非正規」では38.8%が「同一就業継続」となっている。(表10)

表10 出生順位別にみた就業継続の有無

(単位：%)

		総数	同一就業 継続	転職	離職	不詳	
第2回	総数	(100.0)	100.0	62.1	2.0	28.3	7.6
	第1子出産	(39.9)	100.0	53.2	-	39.2	7.6
	第2子以降出産	(60.1)	100.0	68.1	3.4	21.0	7.6
第1回	(再掲) 正規	(47.5)	100.0	69.1	1.1	23.4	6.4
	(再掲) 非正規	(33.8)	100.0	38.8	4.5	50.7	6.0

注：集計対象は、第1回、第2回ともに双方から回答を得られている夫婦の、第1回仕事ありで、この1年間に出産した妻である。

(2)「1年前の出産後の就業継続意欲」からみた「就業継続の有無」

「出産した後も続ける」と考えていた場合の同一就業継続は78.9%。

第1回の出産後の就業継続意欲別にみると、同じ仕事を「出産した後も続ける」としていた妻のうち78.9%が「同一就業継続」となっている。

出生順位別にみると、「出産した後も続ける」場合の「同一就業継続」は、「第1子出産」では81.4%、「第2子以降出産」では77.8%となっている。(表11、図7)

表11 出生順位・第1回の出産後の就業継続意欲別にみた就業継続の有無

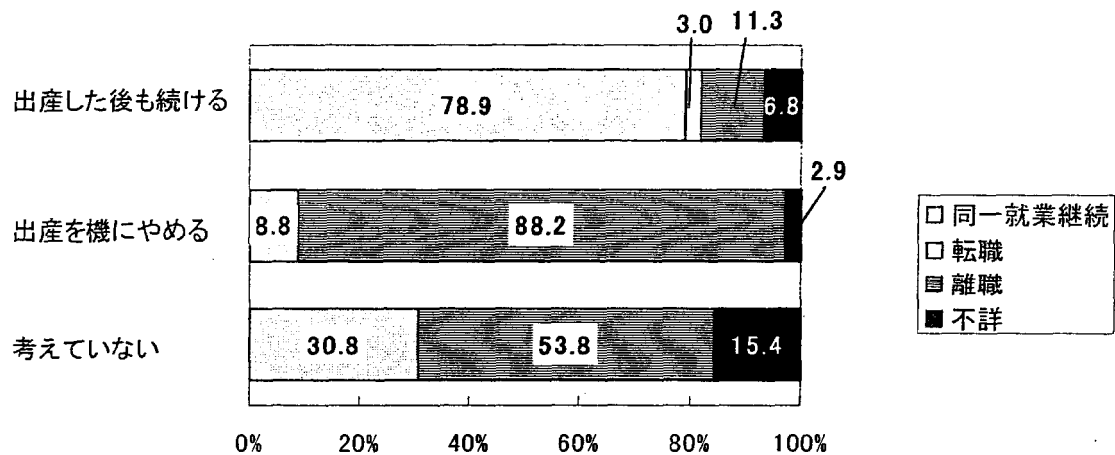
(単位：%)

		総数	同一就業 継続	転職	離職	不詳	
出生 順位 ・ 第1 回 出 産 後 の 就 業 継 続 意 欲	総数	(100.0)	100.0	61.7	2.1	29.0	7.3
	出産した後も続ける	(68.9)	100.0	78.9	3.0	11.3	6.8
	出産を機にやめる	(17.6)	100.0	8.8	-	88.2	2.9
	考えていない	(6.7)	100.0	30.8	-	53.8	15.4
	第1子出産	(100.0)	100.0	51.9	-	40.3	7.8
	出産した後も続ける	(55.8)	100.0	81.4	-	9.3	9.3
	出産を機にやめる	(26.0)	100.0	5.0	-	95.0	-
	考えていない	(11.7)	100.0	33.3	-	55.6	11.1
	第2子以降出産	(100.0)	100.0	68.1	3.4	21.6	6.9
	出産した後も続ける	(77.6)	100.0	77.8	4.4	12.2	5.6
	出産を機にやめる	(12.1)	100.0	14.3	-	78.6	7.1
	考えていない	(3.4)	100.0	25.0	-	50.0	25.0
	(再掲) 正規	(100.0)	100.0	68.8	1.1	23.7	6.5
	出産した後も続ける	(75.3)	100.0	84.3	1.4	8.6	5.7
	出産を機にやめる	(12.9)	100.0	16.7	-	83.3	-
考えていない	(7.5)	100.0	14.3	-	71.4	14.3	
(再掲) 非正規	(100.0)	100.0	37.5	4.7	53.1	4.7	
出産した後も続ける	(53.1)	100.0	61.8	8.8	26.5	2.9	
出産を機にやめる	(34.4)	100.0	4.5	-	90.9	4.5	
考えていない	(7.8)	100.0	40.0	-	40.0	20.0	

注：1) 集計対象は、第1回、第2回ともに双方から回答を得られている夫婦の、第1回仕事ありで、この1年間に出産した妻のうち、第1回子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者のみである。

2) 総数には出産後の就業継続意欲不詳を含む。

図7 第1回の出産後の就業継続意欲別にみた就業継続の有無



注：集計対象は、第1回、第2回ともに双方から回答を得られている夫婦の、第1回仕事ありで、この1年間に出産した妻のうち、第1回子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者のみである。

(3)「就業継続の有無」からみた「1年前の家族の考え方や会社の雰囲気」

配偶者や家族が退職を望んだり、会社に働き続けにくい雰囲気があるということがなかったのは、同一就業継続で82.4%、離職で60.7%。

就業継続の有無別に第1回の出産後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気をみると、「配偶者や家族が出産後退職することを望んでいる」あるいは「会社に出産後働き続けにくい雰囲気がある」というようなことがいずれもなかった（表12の「上記のようなことはいずれもない」）のは、「同一就業継続」で82.4%、「離職」で60.7%となっている。

一方、「配偶者や家族が出産後退職することを望んでいる」又は「会社に出産後働き続けにくい雰囲気がある」の割合は、「離職」の場合に多くなっている。（表12）

表12 就業継続の有無別にみた
第1回の出産後の就業継続に関する家族の考え方や会社の雰囲気

(単位：%)

		総数	同一就業継続	離職
第1回 家族の 考え方や 会社の 雰囲気	総数	100.0	100.0	100.0
	配偶者や家族が出産後退職することを望んでいる	5.7	1.7	14.3
	会社に出産後働き続けにくい雰囲気がある	12.4	10.1	17.9
	上記のようなことがいずれもある	-	-	-
	上記のようなことはいずれもない	74.6	82.4	60.7
	不詳	7.3	5.9	7.1

注：1) 集計対象は、第1回、第2回ともに双方から回答を得られている夫婦の、第1回仕事ありで、この1年間に出産した妻のうち、第1回子どもをもつ意欲が「絶対欲しい」「欲しい」「どちらとも言えない」「あまり欲しくない」のいずれかの者のみである。
2) 総数には転職及び就業継続の有無不詳を含む。

(4)「1年前の夫婦の家庭観」からみた「就業継続の有無」

夫婦ともに「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭を築きたい」と考えていた妻の同一就業継続は7割以上。

第1回の夫婦の家庭観の組合せで、出産した妻の「同一就業継続」の割合をみると、「世帯の収入に対する責任」については、夫婦ともに「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」では72.6%、夫婦ともに「夫が主として責任をもつ家庭」では50.0%となっている。また、妻が「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」、夫が「夫が主として責任をもつ家庭」では、77.8%と最も多くなっている。

「家事に対する責任」では、夫婦ともに「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」で72.6%、夫婦ともに「妻が主として責任をもつ家庭」で54.5%となっている。(表13、図8)

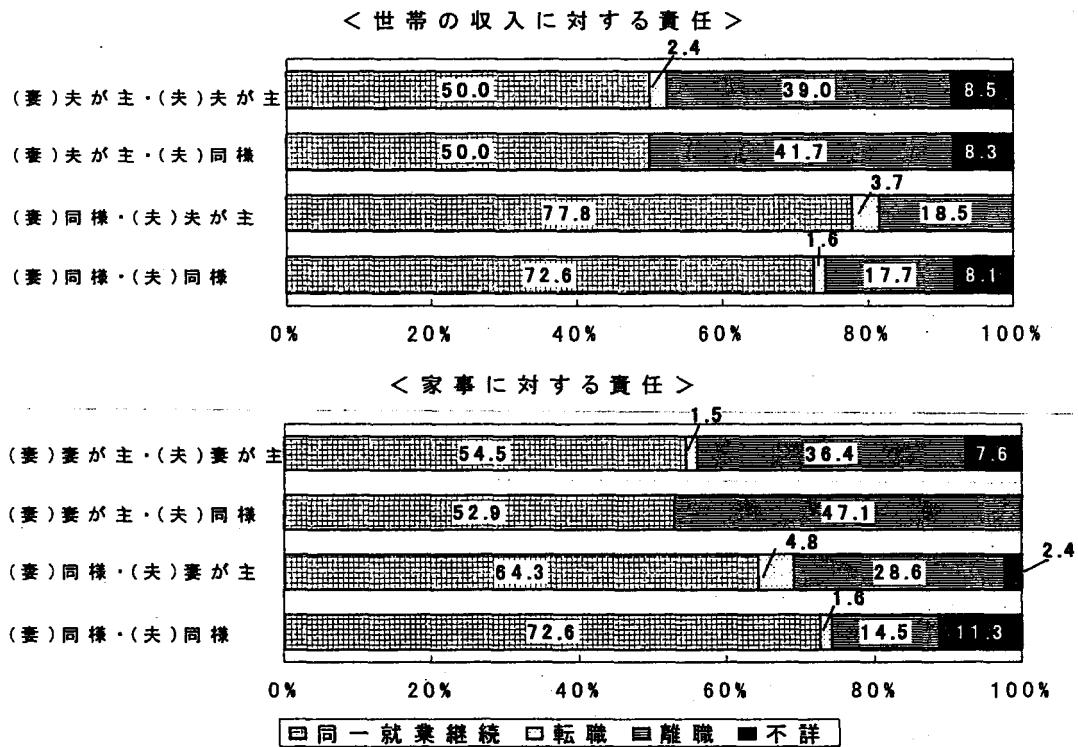
表13 第1回の夫婦の家庭観別にみた就業継続の有無

(単位：%)

		総数	同一就業継続	転職	離職	不詳	
第1回の夫婦の家庭観	<世帯の収入に対する責任>	(100.0)	100.0	62.1	2.0	28.3	7.6
	(妻)夫が主・(夫)夫が主	(41.4)	100.0	50.0	2.4	39.0	8.5
	(妻)夫が主・(夫)同様	(6.1)	100.0	50.0	-	41.7	8.3
	(妻)同様・(夫)夫が主	(13.6)	100.0	77.8	3.7	18.5	-
	(妻)同様・(夫)同様	(31.3)	100.0	72.6	1.6	17.7	8.1
第1回の夫婦の家庭観	<家事に対する責任>	(100.0)	100.0	62.1	2.0	28.3	7.6
	(妻)妻が主・(夫)妻が主	(33.3)	100.0	54.5	1.5	36.4	7.6
	(妻)妻が主・(夫)同様	(8.6)	100.0	52.9	-	47.1	-
	(妻)同様・(夫)妻が主	(21.2)	100.0	64.3	4.8	28.6	2.4
	(妻)同様・(夫)同様	(31.3)	100.0	72.6	1.6	14.5	11.3

注：1) 集計対象は、第1回、第2回とも双方から回答の得られている夫婦の、第1回仕事ありで、この1年間に出生した妻である。
 2) 「夫が主」とは「夫が主として責任をもつ家庭」、「妻が主」とは「妻が主として責任をもつ家庭」、「同様」とは「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」をいう。
 3) 「夫が主」とは「夫が主として責任をもつ家庭」、「妻が主」とは「妻が主として責任をもつ家庭」、「同様」とは「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」をいう。

図8 第1回の夫婦の家庭観別にみた就業継続の有無



注：1) 集計対象は、第1回、第2回とも双方から回答の得られている夫婦の、第1回仕事ありで、この1年間に出生した妻である。
 2) 「夫が主」とは「夫が主として責任をもつ家庭」、「妻が主」とは「妻が主として責任をもつ家庭」、「同様」とは「夫妻いずれも同様に責任をもつ家庭」をいう。